

それでもなのか、そうだからなのか？

現今のメタボリック・シンドロームの診断基準は、血圧 130－85 以上を高血圧症としている。ボクは、当初からずっと反対してきた。血圧が 130 以上ある人は、日本人の半数はいるのではないか？国民の半数が高血圧症なら、日本は高血圧症国家だ。

これを提唱した人に、厚生省から「始めるぞ」と声をかけたら、慌てて「ちょっと待ってください」と言ったとか。事実かどうか知らないが。

家電量販店の血圧計のコーナーには、130－85 以上は高血圧です、と書いてある。かれらには、事実かどうかなどどうでもいいことなので、売ればいい。思想も何も無い。(ちなみに、WHO 世界保健機関の基準は、140－90 以上である。)

「それでも」国民の平均寿命は、世界一長い。なぜか？———血圧を早めにチェックして早めに治療するから、つまり「そうだから」なのか。ボクには疑問だらけである。**血圧だけが寿命を左右する因子でもあるまいし。**血圧 200 でケロッとしている人はいくらでもいるじゃないか。ボクが血圧の薬を処方するのは、おおむね 170－95 前後以上である。しかも、少なくとも、2 回か 3 回か測定した結果の判断である。

ある若い男性が、動悸がする、と市立病院を受診した。何も異常はみつからない。(当然だろう。)すると、主治医は、血圧でも下げますか、と降圧剤の処方をした。さすがに、あまり効かないタイプの降圧剤だったが、いずれにしても、血圧の症状に「動悸」というのは、基本的にはない。「高血圧で動悸は起こらない」と説明して、血圧の薬をやめた方がいい、と言ったが、それきり来なくなった。(理由ははっきりしている。市立病院の医者言うことに、町医者が文句を言うな、だろう。……アホか。オレはその医者が生まれる前から医者をしているわ。…さらに言えば、ほとんどの医者は、たとえ開業医であろうと、以前には大病院に勤務していた人である。)以前にも書いたが、「高血圧の症状」は、狭心症か下肢の浮腫程度であり、めまいやふらつきは、べつの理由のことが多い。ただ、まちがいなく、その時に血圧があがっている人もいる。だから、まったくの嘘だとも言っていない。めまい＝高血圧が間違っている、と言っているだけである。

昨今、TV 番組の貧困化、アイデアの枯渇、というか初めから確固とした考えがあっ

て番組をつくっているわけではなく、単に、安い制作費で他局が稼いでいる視聴率を稼ごうとするから、同工異曲の番組が増えただけである。また泥鰌が2匹も3匹もおるねんな。アフリカに住む日本人をさがす番組が少し当たったら、今度はアジア、南アメリカ、ヨーロッパの僻地に住む日本人をさがす。

医療関係の番組でもそうで、あちこちのTV局で、バラエティ番組として雨後の筍のように、よく似た番組が氾濫している。だから、よく似た顔ぶればかりである。——もともと、彼ら彼女らのやった仕事ではなく、誰か他人の考えた、そして調査した結果が公表されると、それをあたかも自ら考えたかのように話している。こんなんは、盗用とか改竄とか捏造とかとは言わないらしい。……もっとも恐ろしいのは、これを完全に信用し切っている人々がいる、という事である。大本营発表じゃあるまいし。——先日来た患者。若い男性だったが、風邪をひいたときに高熱がでるのは自ら癒そうと頑張っているのだから、薬で熱を下げるのは治りを遅らせる、と言った医者が出て、……「誰がゆうてん？」名前は知らなかったらしい。「それなら、キミはここに何をしに来てん？」——さらに、それなら江戸時代と同じで、40℃熱を出してフウフウいってればいい。何日かすればうまくいけば治るかもしれないし、治らなかったらそれで終わりや。……結局、薬を持って帰ったから、服んだのやろね。

今になって、ようやく、メタボリック・シンドロームの見直しが検討されているらしい。9年間ほったらかしにしておいて、今さら。ボクの診察室には「悪い例」として張ってある

それはともかく、TVでバラエティ番組に出ている医者もどきを駆逐してくれる人はいないか。ボクは観ないが、観て疑うことなく信用するのがいるのは間違いない。

ある悪性腫瘍に罹った女の子。中国四千年の知恵、とばかりに、そちらに走るから、ちょっと待ってよ。日本が一番寿命が長いねやろ。四千年が五千年であろうと、寿命が延びないのはどうしてなの？

漢方薬には副作用がない、と信じている人とかわらない。薬であるかぎり、絶対に副作用はあります。

2014.05.10.